



# 校長室だより

令和4年度 竜北西部小学校 第4号

文責 校長 服部 正

学校HP <https://es.higo.ed.jp/ryuhokuw/>

【随時更新中です。是非ご覧下さい!】

【学校目標】 「やる気・ゆう気・根気! 笑顔輝く 竜西っ子」 ~夢を持ち、自ら進んで学び、ともに育ち合う児童の育成~

## チャレンジで「なりたい自分」へ! ~第2学期 始業式 校長講話より~

この夏休み中は、たくさんのスポーツの大会がありました。中でも高校野球が大変盛り上がりましたね。テレビで見た人も多かったのではないのでしょうか。

長い時間をかけて一つの競技を突き詰めてきた選手の技術はもとより、勝負にかける思いがそのプレーから見えて沢山の感動をもらいました。印象に残ったの試合の一つに兵庫県代表の社高校と岐阜県の県立岐阜商業高校の試合があります。

試合は10-1で社高校の快勝でした。しかし、試合に勝った社高校の生徒は、甲子園初出場初勝利でうれしくてたまらないはずなのにガッツポーズや笑顔が見られず、試合後どっちのチームが勝ったのかなと思うほどでした。このことについて主将の後藤君はインタビューで、「僕たちが相手側の立場だったら、大分苦しい状況ですので、相手への敬意を忘れず、対戦できることの喜びを感じてプレーしていました。チームメイトとは対戦相手がいる喜びを感じてやっていこうと話していました」と話しました。

実は、対戦相手の岐阜商業高校は、新型コロナウイルスの集団感染により、この日は登録メンバー18人中10人を入れ替え、試合に臨んでいました。先発メンバーで主力選手の出場はわずか4人で、そのうち3年生は2人。あとの5人は控え選手と急遽メンバー入りのため地元の岐阜から招集され、チーム合流から2日間しか練習していない1、2年生だったのです。そんな中で最後まで全力で頑張った岐阜商もすばらしいものでした。

さて、校長先生は1学期の終わりに、みなさんに、人にやさしくできる人は本当に心が強い、「ゆう気」ある人ですというお話をしました。**やさしい人になるためには、「想像力」が大切だと考えます。**相手の言葉からは分からないことも顔の表情やしぐさなどから「この人はこんなふうにいるのではないかな」と想像すると同時に「この人のために私ができることは何か」と考えるようにしています。みんなもぜひ、毎日の生活の中で、想像力を働かせてみてください。

例えば、登校時に地域の方が見守りをしてくれていますね。「この人はなぜ毎日見守りのために通学路に立っているのだろう」と想像してみてください。そうすると自然と感謝の気持ちかわき、「ありがとうございます」や「あいさつの言葉」がでてくると思うのです。

また、教室に入ったら表情が晴れない友だちがいたとします。「あれ、いつもより元気ないなあ。どうしたのかな。」と想像すると同時に「自分は何をしてあげられるかな」と考えてみてください。**正解は一つではありません。一生懸命に相手の思いを想像し、その人のためにしてあげたことがやさしさなんだと思います。**

さあ、いよいよ2学期が始まります。2学期は、一番長く、たくさんの行事や勉強がある学期です。この中から、大好きなこと・やりたいことを「めあて」や「目標」にして、たくさん挑戦してください。

たとえば、「本をいっぱい読みたい。」「すすんで発表できるようになりたい。」「リーダーになりたい。」「字が上手にかけるようになりたい。」「英語ですらすら話したい。」「人にやさしくしたい。」などなど、いろいろありそうです。大好き、やりたいを見つけて、ぜひぜひチャレンジしてください。

**西部小学校でいうチャレンジは、「できたか or できなかった」ではなく、「失敗を恐れずにチャレンジ(行動)できたか」です。このチャレンジが、みんなを「なりたい自分」にしてくれるはずですよ。先生の話をよく聞き、友だちと協力しながら、自分の大好き、やりたいにチャレンジする2学期を始めましょう。**



## 2学期も心を合わせて「笑顔輝く西部小」に! ~応援をよろしくお願いします~

学び舎や地域への感謝の心を磨く子どもたちが自発的に取り組んでいる「朝のボランティア活動」。子どもたちの学びを深め誰一人取り残さない「西部小版DX」の推進。保護者と地域、保護者同士をつなぐ学校運営協議会による「かたらんかい」。様々な取り組みをとおして、子どもたちの成長を育てていきます。



防災頭巾づくり